_	1///	- Lan		一 一	, <del>+</del> 0 7	24 H
評価対象事業	割	価者	文化人権	<b>雀推進課担当課長</b>	青木 達哉	
経企-19 男女共同参画推進事業	■ 自治	事務	主管課	文化人権推進課		
在正 19 方女共同参画在医事来	□ 法定	受託事務	関連課	人権•男女共同参画	施策推進連絡会	の構成課
<mark>総合計画上の                                    </mark>	施策	の方針	人権施策の	充実		
1 事業の目的		2 平成	26年度に実	施した事業の概要		
対象 市民等						

固定的性別役割分担意識を見直し、あらゆる分野に男女が対等に参画する

ことができる男女共同参画を推進するため。

あらゆる分野に男女が対等に参画することができる男女共同参画社会を形 果 成する。

・「かまくら21男女共同参画プラン」を推進する啓発事業を行った。 ・男女共同参画推進条例に沿って男女共同参画行政を推進した。

・面接・電話による女性相談業務を行った。

3 事業費等基礎データ

デ人	データ区分	27年度当初予算	データ区分	26年度決算	/	備考
jμ	人口	177,243人	人口	177,464人		•各年3月31日
タ等	世帯数	80,676世帯	世帯数	80,368世帯		(住民基本台帳)
7 00	事業の対象者数		事業の対象者数		/	
VE	当初予算(千円)	4,124	決算値(千円)	3,467	/	
運	国県支出金	665	国県支出金	665	/	
呂次	地方債		地方債		/	
貝	その他	110	その他	67		
営資源状	一般財源	3,349	一般財源	2,735		
況	人員配置数	1.0	人員配置数	1.0	/	
,,,,	人 件 費(千円)	7,918	人 件 費(千円)	7,589		
事	総事業費(千円)	12,042	総事業費(千円)	11,056		
経選	市民1人当りの 経費(円)	68	市民1人当りの 経費(円)	62		
	対象者1人当り の経費(円)		対象者1人当り の経費(円)			

## 4 評価結果

## ※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

1 1111				$\mathbb{A}^{T}$				
	年度事業実施 つての課題	・審議会等における女性委員の比等の向上を図ること。 ・市民・事業者に対して、男女共同参画社会の理念をさらに周知すること。						
	そのために行っ 26年度の取組	・審議会等における女性委員の比等の向上を図るため、女性委員がいない審議会等を所管する課に対し、聞き取りを行った。 ・講座等の開催により、市民に男女共同参画社会実現のための啓発を行った。						
	決の課題 たな課題	女性委員の登用推進要綱で定めている「男女いずれか一方の数が、総数の10分の4未満にならないこと」とする目標の達成率は31.5%にと どまっているため、目標達成率向上のため、より効果的な手法を検討する必要がある。 また、男性に対する啓発にも取り組む必要がある。						
効 率 性		余地はないか		2. ない				
		業との統合はできないか		3. 統合できない				
	事業の実施に	に対する市民ニーズはあるか		3. 変わらずにある				
妥 当 性	事業の廃止・休	・休止による市民生活への影響は大きいか		3. 廃止・休止による影響は大きくある				
	今後も市が実	が実施すべき事業か		5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある				
有 効性・	事業の成果は	<b>具は得られているか</b>		2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である				
	事業の上位施	策に向けた貢献度は大	きいか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している				
公平性	受益者負担は	公正・公平か	△.負担未導入	△-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである				
協働す	市民等と協働して事業を展開しているか	<ul><li>○ 均価宝施次</li></ul>	○-2. 既に市民等と協働して適格に事業を実施している					
1刀刀   宝刀		て事業で展開しているが.	〇. 励 例 天 旭 仍	協働実施済の場合のパートナー かまくら男女共同参画市民ネットワーク「アンサンブル21」				
	□ a:事業内	容を見直す →	見 広大	· 見				
事業内	■ b:事業内	容は現状通りとする	種直 田 縮小	内 <mark>直</mark> マレ				
容の方 向性	□ c:事業を	休止又は廃止する	の □ その	他 <b>「</b>				
	□ d:他事業	と統合し、本事業は廃止	:する =	事業へ統合				
予算規 模の方 向性	□ A:予算規	見模を拡大する	事業内容•予					
	■ B:予算規	見模は現状維持とする	算規模の方向	見在の事業内容、予算規模は適正と考えられることから、現状維持とする。				
	□ C:予算規	見模を縮小する	性設定の理由					
総評		続き、男女共同参画社会実現のための啓発事業を実施するとともに、審議会等委員における男女比の均衡に努める。 は共同参画市民ネットワークアンサンブル21の運営委員が減少、高齢化しているため、新たな人材や若い世代の加入を進めることがいる。						

## 〇 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値) 比較事項 審議会等の女性委員割合 団体名 鎌倉市 藤沢市 茅ヶ崎市 平塚市 小田原市 横須賀市 逗子市 三浦市 目標:40% 目標:42% 目標:40% 目標:40% 目標:40% 目標:30% 目標:30% 目標:40% 他市実績 達成率:28.0% 達成率:41.0% 達成率:27.6% 達成率:28.0% 達成率:28.0% 達成率:23.3% 達成率:30.9% 達成率:27.9% 比較事項 茅ヶ崎市 平塚市 三浦市 団体名 鎌倉市 藤沢市 小田原市 横須賀市 葉山町 逗子市 他市実績 比較事項 団体名 鎌倉市 他市実績 当該事業実施に伴う 他市比較に関する 本市と同程度の数値となっている市が多いが、40%を超えている自治体もあり、引き続き女性委員の登用を推進に努める。 考え方 ◎ 事業実施に係る指標 指標の % 指標の内容 備考 審議会等への女性委員の登用推進要綱に定める目標を達成している審議会等の割合 欱 当該指標を設定した理由 年次 H26 H27 H28 H29 H30 H31 目標値 50.0 60.0 70.0 80.0 90.0 100.0 方針決定の場への女性の参画を 推進状況を把握するために指標 実績値 31.5を設定する必要があるため。 63.0% 達成率 単 指標の 指標の内容 備考 当該指標を設定した理由 H27 H29 年次 H26 H28 H30 H31 目標値 実績値 達成率 指標の内容 備考 当該指標を設定した理由 年次 H27 H28 H30 H26 H29 H31 目標値 実績値 達成率 単 指標の 指標の内容 備考 当該指標を設定した理由 年次 H26 H27 H28 H29 H30 H31 目標値 実績値 達成率 備考 指標の内容 当該指標を設定した理由 年次 H26 H27 H28 H29 H30 H31 目標値 実績値 達成率 当該事業実施に伴う 指標の推移に関する 考え方

● 事業に関する特記事項